

臨床データ利用についてのお願い

当院では神戸大学医学部附属病院食道胃腸外科にて行われている下記の研究について共同研究という形で研究に参加しております。

課題名：直腸肛門部悪性黒色腫に対する治療成績の後ろ向き観察研究

<目的及び概要>

直腸肛門部悪性黒色腫（Anorectal malignant melanoma:AMM）は比較的稀な疾患ですが、早期から高率にリンパ性・血行性に転移する予後不良な疾患です。治療法は局所切断や腹会陰式直腸切断術などが行われますが、最適な治療法は定まっていません。また皮膚科的治療に準じて、術後は免疫チェックポイント阻害薬や分子標的治療薬、化学療法。放射線療法などが施行されることがありますが、効果的な治療法は確立されていません。今回は、AMM の治療法とその予後について治療効果を比較検討します。

<研究方法>

2007年1月1日～2020年12月31日までのAMMと診断され局所手術や腹会陰式直用切断術を施行された約20例を対象に治療成績について、後方視的に比較検討をする。

<研究成果発表>

学会や誌上等での報告を行います。個人名や個人情報公表されることはありません。

<研究者>

代表研究：神戸大学大学院医学研究科 外科：掛地 吉弘

<問い合わせ先>

本研究に関するお問い合わせや診療情報の利用を望まれない方は、下記までご連絡ください。

兵庫県立淡路医療センター 外科 中川暁雄

電話：0799-22-1200（代表）

神戸大学医学部附属病院 食道胃腸外科 永田 真知子/長谷川 寛

電話：078—382-5925